

# 東京都のオープンデータの取組及び

## 東京都オープンデータ・ラウンドテーブルについて

東京都

令和3年2月16日

# 東京都のオープンデータの取組

## これまでの取組

- H29年度から今年度までの4か年計画で、少子高齢化・まちづくりなどの13の重点分野を中心にオープンデータ化を推進
- **東京都オープンデータカタログサイト**を設置。PDFファイル等を互換性の高い「CSVファイル」化。  
**4万件のデータ・2千超のデータセット（=ファイル群）を整備**



【課題】 カタログサイトへのアクセス数は約200PV/日であり、利用数が低調に推移

## 都政の構造改革

- **オープンデータの徹底活用を「都政の構造改革」のコア・プロジェクトの1つに位置付けて強かに推進**

### 「都政の構造改革」の目的等

- ⇒ 行政のデジタル化の遅れなど、コロナ禍で明らかとなった構造的な課題に対して、DXを梃子にして制度や仕組みの根本まで遡った「都政の構造改革」を強かに推進し、**都政のQOS**（クオリティ・オブ・サービス）を向上させることで、**都民のQOL**（クオリティ・オブ・ライフ）を高め、誰もが安全・安心で幸せを享受できる社会を実現
- ⇒ 改革の突破口となる7つの「コア・プロジェクト」を最優先で進める

## オープンデータを活用した民間によるサービス創出など、新たな官民協働スタイルを構築

- 社会のデジタル化の進展に伴い、「データ」は地域課題の解決や新たなサービスや産業の創出につながる「社会的資源」です。
- データを社会全体で活用するべく、民間ニーズを踏まえて行政が保有するデータを積極的に公開し、シビックテックや企業等がオープンデータ等を活用して新たなサービスを創出していく、官民協働スタイルを構築していきます。

## ＜オープンデータ徹底活用プロジェクトの取組＞

## データを公開

民間ニーズに応じたデータを積極的に公開

行政情報、生活情報  
防災情報、環境情報など



行政機関（東京都）

## 新たなサービスを創出

オープンデータを活用し、シビックテック、民間企業等が新たなサービスを開発

マーケティングに活用

アプリの開発



サービス提供者

## 都民のQOL向上

暮らしやビジネスに役立つサービスを都民等が利用

公共交通情報サービス、  
防災情報サービス

子育て支援  
情報サービス



サービス利用者

# 東京都オープンデータ・ラウンドテーブルの目的

## 1 開催目的

データ活用を希望する民間企業等からのニーズを東京都が直接聴取することで、都をはじめとする行政のオープンデータ化の取組を促進していくとともに、行政データと民間データの組み合わせによる民間サービスの創出・進化につなげていく。

## 2 今回の目的

今回は、プレゼンターの提案について、即応することを目的とせず、民間のニーズを直接聞くことで各局のデータに対する意識改革や気づきの場としていくものとし、ラウンドテーブルの意義等を全庁に周知し、来年度以降の継続的な開催へとつなげていくため、試行実施とする。